

組織の軸を、 人の軸から。

— 企業研修・組織開発のご案内 —

離職・すれ違い・受け身——組織の悩みの根は、いつも「人と人の対話」にあります。

ACA-JAPANは、傾向診断×SQ5コーチング®×習慣化の3つのメソッドで、社員一人ひとりの「ぶれない軸」と対話の力を育てます。

一般社団法人 日本アクシスコミュニケーション協会

設立 2017 年 一般社団法人として9年目	研修・講演 実施 56 本 企業・法人・団体向け累計	傾向診断 実施 1,300 件+ 脳感傾向・価値観診断 累計
-------------------------------------	---	---

ISSUES

その課題、「スキル研修」だけでは解決しません。

ISSUE 01

若手が定着しない。
本音が見えない。

待遇でも配属でもなく、「わかってもらえていない」が離職の引き金に。上司と部下の対話の質が、定着率を左右します。

ISSUE 02

管理職が「指示」はできても「対話」ができない。

プレイヤーとして優秀だった人ほど、部下の話を聴く前に答えを言うてしまう。1on1が形骸化する典型的な構造です。

ISSUE 03

研修をやっても、現場が変わらない。

学んだ直後は変わるのに、3週間で元通り。原因はスキル不足ではなく、行動が「習慣」まで落ちていないことです。

3つに共通する根っこは、**自分と相手を知らないまま対話していること。**

だから私たちは、「知る」から始めます。

知る → 言葉にする → 習慣にする。

3ステップで、対話の軸を育てる。

単発の座学では終わらせません。診断で自分と相手の傾向を可視化し、コーチングの型で本音を言語化し、行動を習慣まで定着させる——この一連の流れがACAメソッドです。



効果は、診断で可視化。

受講前後の傾向診断の比較と、研修結果レポートのご提出により、「何がどう変わったか」を数値と言葉でお返しします。やりっぱなしにしない研修です。

ご依頼から実施までの流れ



研修プログラム（階層 × テーマ）

対象\テーマ	対話・1on1	チームづくり	自律・キャリア
経営層・役員	エグゼクティブ対話研修 経営の意思を「伝わる言葉」にする。役員間の相互理解と発信力。	経営チーム診断 役員の傾向マップで意思決定のクセと死角を可視化。	理念浸透ワーク 理念を現場の行動言語に翻訳する。
管理職・リーダー	SQ5型 1on1研修 書く・選ぶ・話すの型で、形骸化した1on1を本音の対話に変える。最も依頼の多い研修です。	傾向診断マネジメント 部下の脳感傾向に合わせた指示・任せ方を習得。	リーダーの軸づくり プレイヤーからリーダーへ。自分の判断軸を言語化する。
中堅・若手	伝わる報連相研修 上司の傾向を知り、伝わる伝え方を設計する。	相互理解ワークショップ 診断結果をチームで開き合い、すれ違いの正体を共有。	キャリアの軸研修 「何がしたいかわからない」を、価値観の言語化から解く。

講演・セミナー 90分～半日 30万円～	人気 研修（単発～短期） 半日～2日 50万円～	伴走プログラム 3～6ヶ月 個別 見積み
✓ 全社向け・階層別どちらも可 ✓ 診断体験つきの構成も可能 ✓ オンライン・対面对応	✓ 傾向診断＋ワークショップ ✓ SQ5型 1on1研修が人気 ✓ 研修結果レポート付き	✓ 研修＋習慣化フォロー ✓ 診断比較による効果測定 ✓ 経営層セッション併用可

人数・回数・カスタマイズ内容により変動します。まずは無償ヒアリングで課題をお聞かせください。

導入事例

社会福祉法人（2法人）

福祉の現場に、「傾向のちが
い」という共通言語を

傾向診断＋職員研修

職員一人ひとりの脳感傾向を診断し、チームで開き合う研修を実施。対人援助の現場だからこそ、まず職員同士の相互理解から始めました。

学習塾

生徒への伝え方を、講師の
「感覚」から「設計」へ

傾向診断＋講師研修

講師陣の傾向診断をもとに、生徒のタイプに合わせた教え方・声のかけ方を研修。教育現場と傾向診断の相性の良さを実感いただいた事例です。

EC事業会社

画面越しのチームにこそ、対
話の「型」を

傾向診断＋社員研修

リモート主体で働くメンバーの相互理解とコミュニケーション設計を支援。診断から研修までオンライン完結で実施しました。

※ 守秘義務のため、事例は業種・実施内容のみ記載しています。

名称	一般社団法人 日本アクシスコミュニケーション協会 (ACA-JAPAN)
設立	2017年6月
代表理事	佐桑 史基
事業内容	企業研修・講演・組織開発／傾向診断（脳感傾向・価値観）／SQ5コーチング®／認定コーチの養成
商標	「SQ5コーチング」は当協会の登録商標です。



佐桑 史基

代表理事

「問題社員はいない、すれ違って
いる社員がいるだけ」。知る→言葉
にする→習慣にする、の3ステップ
で、人と組織の対話に向き合っ
ています。

最初の30分は、「聞くだけ」で構いません。

無償ヒアリングでは、貴社の課題を伺った上で、研修が有効か・どんな設計が合うかを率直にお答えします。

aca-japan.com

お問い合わせはWebサイトのフォームから（「研修のご相談」とお書きください）